

令和５年度 第２回 長崎県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和６年３月８日（金） １４時００分～１６時００分

開催場所：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール

出席者：委員１０名、日本年金機構４名

オブザーバー：県内年金事務所長２名（佐世保、諫早）

- １．開 会 長崎南年金事務所 副所長(併)総務調整課長
- ２．挨拶 長崎南年金事務所長 本多 敦
- ３．議 事 議事進行：長崎女子短期大学長 玉島 健二（以下、委員長と標記）
 - 議題１ 令和５年度事業実施結果中間報告について
 - 議題２ 令和６年度事業計画（案）について
 - 参考資料（１）令和５年度における主な事業の取組状況（全国）
 - （２）長崎県の国民年金・厚生年金保険の状況
 - （３）各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況

議題１ 令和５年度事業実施結果中間報告について

事務局より、資料４ページから２１ページ「令和５年度事業実施結果中間報告」について説明。
各委員より質問、意見及び要望等をいただき今後の取り組みに活かしていくこととした。

議題２ 令和６年度事業計画（案）について

参考資料（１）～（３）

事務局より、資料２２～２７ページ「令和６年度事業計画（案）」について説明。

また、資料２８～３２ページ「参考資料」について説明。各委員より質問、意見及び要望等をいただき今後の取り組みに活かしていくこととした。

【主な意見・質問等】

（委員長）

質問、意見について積極的な発言をお願いしたい。前半、後半に分けて意見を伺いたいので議題１の
Ｐ４からＰ２１までの内容で何か確認したいこと、質疑があればよろしくお願いします。

（伊崎委員）

前回の会議で質問した内容について回答いただきたい。地域型年金委員と自立相談支援機関との連携
に関しての取り組みについて何かあるかとの質問だった。

（副所長）

前回の意見については本部へ質問を投げかけているが、まだ回答が来ていないので回答があり次第お
知らせしたい。

（犬塚委員）

Ｐ１２ですがセミナー実施の箇所について大村城南高校へ諫早年金事務所から年金講座をしていた

だいた。資料にある動画視聴とはどういったものか。

(副所長)

本部が作成した1コマ20分程度のDVDを送付し活用していただいている。

(犬塚委員)

県立の学校ではIT化が進んでいて一人一台のPCを持っている。子供の数が減少し、学校が小規模化しており教員の数も減少している。高校の数も減少している。教育委員会では長崎県遠隔教育センターを令和7年度に大村に開設しオンラインで教育を提供する。よろしければ大村のセンターまで来ていただき配信する形を検討されてはいかがか。また、P14特別支援学校については子供が減っていると話をしたが支援が必要な子供は増えており当面は増加傾向にある。セミナーをお願いしたい。

(委員長)

質疑を分けたのはセミナーの在り方について話をしたかった。他にご意見をいただきたい。

(東島委員)

確認ですが、オンラインについてはZoomですか。

(所長)

Microsoft Teams を使用いただいている。

(東島委員)

オンラインでのセミナーが0件というのはどういった理由だったのか。

また、機構は公式のYouTubeを活用しているのか。

(所長)

厚生労働省のYouTubeを活用している。

(委員長)

長崎女子短期大学もセミナーを毎年実施いただいているが、DVDを最初に流して私が作成した講義メモにて説明している。その後、機構職員にて説明を受けている。DVD視聴はDVDのみをカウントしている。また、オンラインセミナーについては音声聞き取りにくいことと対面のほうが効果的であると思う。

(宮崎委員)

セミナー前と後のアンケートの取り方について深く理解することができた。

(委員長)

わかっていない状態と受講した後でどう理解が深まったのかのアンケートとなっている。

(副所長)

セミナーは7月ごろに各学校へセミナー開催の案内を出し、どのような形式を希望するか記載いただいている。

(委員長)

セミナーは短大の1年生を対象としている。現役で入る人が多く18歳から19歳が対象となっている。先ほどDVD視聴の話をしたが、以前のDVDが短くてわかりやすかった。長かったこともあり動画が早すぎるとか、内容がわからなかった等の自由記載があった。年金は、年を取ってからの話だとの考えが、セミナー後は自身のこととして考えてもらえるように変わっていると思う。

(宮崎委員)

P 1 3 の T V 年金相談がどれくらいなされているか。壱岐市は年々減っているが理由はあるか。

(所長)

導入当初は広報が強くなされたが、継続的な広報が足りていないかもしれないと考えている。

(古賀委員)

他の市町で実施する予定はあるのか。

(所長)

全国で佐渡、五島、壱岐の 3 市のみで実施されている。初期費用が高いと聞いている。いずれも T V 電話も新宿の職員がオンラインで対応している。カメラの性能も高く書類を鮮明に見ることができ
る。拡大は予定されていない。

(委員長)

T V 年金相談はどういった仕組みか。

(所長)

市のスペースを間借りしてリアルタイムで、双方向で相談を受けている。

(委員長)

長崎は離島が多いので活用を進めたほうがいいと思う。

(吉田委員)

雇用保険年金相談アドバイザーの委嘱依頼があっているがご存じか。活用してはどうか。

(所長)

労働局とはパイプがあるので確認してみる。

(吉田委員)

ハローワークに曜日を決めて常駐している。

(古賀委員)

P 1 5 年金委員の研修会について、全国の記載があり 6 4 名とあるが全国、一同に集めて実施しているのか。案内はどのようにしているのか。旅費等についても伺いたい。

(副所長)

1 1 月 6 日に各年金事務所に集まっていただきオンラインで受講いただいている。また、今年度は職
域型、地域型それぞれ 1 名は東京での研修に出席してもらっている。

(本山委員)

P 1 8 「わたしと年金」エッセイを募集されているが、セミナーの際にエッセイを配ったりされてい
るのか。募集していることが学生に伝わっていないのではないか。セミナーと合わせて案内してみても
いいかがか。

(副所長)

R 5 年度は応募がなかったため、今年 1 月、2 月にセミナーで訪問した際に学校へは案内チラシ等を
持参している。学校の先生だけではなく学生に向けてもアプローチしていきたいと思う。

(委員長)

次に、議題 2 について進めさせていただきたい。P 2 2 以降について質問、提案等出していただきた
い。

(本山委員)

立場上、各県の事業運営調整会議へ出席している。市町村へ訪問した際に年金事務所へ対してお褒めの言葉もある。一方で年金事務所へ電話がつかない、メールが使えない等のご意見もあっている。市町村との連携について研修は実施されているが、他県で出た意見では市町村で死亡の届の際に年金事務所への案内もあればよかったとの意見があった。実務的に一人のお客様と考えた時の連携を考えていただきたい。また、国年納付率が年金事務所の評価につながると思うが、他県では大学と連携して毎月相談会を行う取り組みをしている事例がある。参考として欲しい。

(所長)

研修を厚くやっていく必要があると思っている。大学については宮崎県で実施していると情報を得ている。長崎はセミナーを依頼するのも苦慮している状況である。大学に対してはメーリングリストに載せてもらって周知する形をとっている。

(委員長)

昨年度、短大では全学生に対しPDF形式で学校のシステムを利用して展開した実績がある。どこまで見てくれているかは不明である。大村のセンターは年金セミナーでも利用できるのか。

(大塚委員)

令和7年4月のオープンに向けて準備をしている。6年度も一部稼働する。必ずしも授業である必要はない、一緒に音楽を流したりとかもある。

7月に学校へ向けて案内を出すとのことで、大学がメインだと思うが、農業、工業の専門学校もいいのではないかと。大学は年度当初、年度が始まる前に話をしてほしい、7月では遅いと思う。

(伊崎委員)

本山さんから納付についての話があった。セミナーのアンケート結果をみた。協会でも会社向けの研修をやっている。そのアンケートを見ると説明がわからないとか本を読んでいるだけだとか厳しい意見があっている。機構ではセミナー王選手権をやっていると思う、皆さん工夫を凝らしている。これと同様に事業所向けのセミナーの向上をやっていただきたい要望です。

(所長)

本部へ上げていきたい。セミナー王選手権は職員のスキルアップにはなっているが、実際の学生向けセミナーに直接つながっている状況ではない。

(片岡委員)

国民年金納付率80%を超えているのは喜ばしいと思っている。国民の信頼が得られていると思う。SNSやYouTubeでも資産運用では、まず年金を収めることが大切だと言っている。年金積立金の運用も最高売上となっている。正しい情報を伝えてほしい。年金はもらえないという話は以前よく聞いたが今は違ってきているのではないかと。

(所長)

あまり変わっていないと思う。以前はマスコミが騒いでいたのでつられて騒ぐ人が多かったと思うが状況は変わっていない。昔ほどお叱りは少なくなっている。資産運用の話の中では基本だとの認識は深まってきている。

(坂口委員)

P25ハローワークとの連携について書類設置のみにとどまったとのこと。年収の壁について

て、労働と共同連携が重要になると思う。また、資料全体の作りとして相談件数等は単年度となっており、推移がわかるものがあるとよいのではないかと要望する。

(所長)

ハローワークとの連携については重要であると認識している。西海、壱岐、対馬は再開している。他は資料配布のみとなっている。助成金については算定説明会で説明参加を予定している。協会けんぽも参加を予定している。調整会議の資料については改善していきたい。

(副所長)

年収の壁については11月22日の年金委員功労者表彰式の時に研修を実施した。今後も年金制度説明会や職域型年金委員への研修等により社会保険加入のメリットを周知していきたい。

(坂口委員)

セミナーの開催校の数字ではなく、受講者数をみたいので要望する。

(伊崎委員)

広報の予算はないと聞いている。協会は原稿をいただければ話をするので言っていただきたい。

(委員長)

できることは協力していきましょう。次回の開催は8月を予定している。

この会議を年2回とするのか皆さんの意見を聞いたうえで時期を変更して1回でいいのではないかと思っている。

(本山委員)

沖縄、大分は年1回実施。次年度は鹿児島年1回、福岡は2回目を書面。

(委員長)

7月下旬などがいいのかも。私たちが決めることではないので本部とも協議いただき決めていただきたい。

(吉田委員)

質問だが、次年度の計画を今日決めるのではないのか。

(所長)

次年度計画については意見をいただくだけの場となっている。

(委員長)

活発なご意見ありがとうございました。

議事終了

閉会挨拶・・・長崎南年金事務所長 所長 本多 敦